

報道関係各位

### 平成30年度「拡大水ボラ」の実施について

東日本大震災津波発生後、本学のほか米国オハイオ大学等の学生、教職員により毎年度、被災地の支援活動「拡大水ボラ※」を実施していますが、今年度は9月29～30日の2日間の日程で、本学のほか、オハイオ大学、中部大学、本庄国際奨学財団の学生や教職員総勢約100人が参加し、陸前高田市内でボランティア活動を実施します。

つきましては、これを取材の上、報道くださいますようお願いいたします。

※ 水ボラ（みずぼら）：被災直後、岩手県に寄せられた支援物資の「ペットボトル飲料水」を、盛岡短期大学の千葉啓子教授（平成29年度末退職）が学生とともに仮設住宅等に配布したことに端を発するボランティア活動。現在は、盛岡短期大学部が中心となり、(株)伊藤園の協力の下、「声かけ」や「見守り」という視点から、仮設住宅等にペットボトル飲料水を届ける支援活動を、陸前高田市を中心に継続して行っている。

毎月1回程度開催している通常の水ボラの参加者は10～30人程度だが、毎年度1回は、オハイオ大学等と共同により参加者を拡げての「拡大水ボラ」を行っている。その経費は、本学災害復興支援センターが助成している。

#### 記

#### 1 日程・主なスケジュール（予定）

月日	行程・活動内容
9月28日 (金)	18:30 3大学交流会〔アイーナキャンパス〕
9月29日 (土)	7:30 県立大学出発 10:00 <b>陸前高田市の仮設住宅において水ボラ実施</b> 12:00 昼食〔伝承館〕 13:00 語り部による被災地学習〔伝承館〕 15:00 梯子虎舞・太鼓練習見学 (県立福祉の里センター(大船渡市)泊)
9月30日 (日)	8:00 県立福祉の里センター出発 津波遺構見学〔定住促進住宅・タピック45・奇跡の一本松〕 ボランティア活動〔海岸清掃・ペットボトル配布等〕 12:00 昼食〔アバッセたかた〕 13:00 陸前高田市出発

※現時点での予定であり、当日までに変更となることがあります。水ボラ実施場所などの詳細については、下記問合せ先に確認くださいようお願いいたします。

## 2 参加予定者数

	学生	教職員	計	内訳	
				9/28 交流会	9/29～30 水ボラ
岩手県立大学	24	19	43	34	38
オハイオ大学	8	1	9	9	9
中部大学	7	4	11	11	11
本庄国際奨学財団	30	5	35	-	35
計	69	29	98	54	93

## 3 昨年度の「拡大水ボラ」の様子



陸前高田市到着



戸別訪問



住民の方と



モビリアから水の積み込み



車へ水の積み込み



滝の里団地で住民の方と懇談

#### ※1 岩手県立大学学生の内訳

看護学部1人、社会福祉学部3人、ソフトウェア情報学部1人、総合政策学部8人、盛岡短期大学部8人、宮古短期大学部3人

#### ※2 オハイオ大学

平成23年の東日本大震災津波の発災後、本学に対して共同による復興支援活動の要請があったことを契機に、同年から継続して「水ボラ」の活動を行っている。平成28年度からは本学の学生をオハイオ大学に語学研修派遣し、相互交流を深めている。

#### ※3 中部大学

中部大学とオハイオ大学は国際交流協定を締結しており、「拡大水ボラ」にはオハイオ大学から中部大学への留学生が参加している。今年度は、同大学の日本人学生が初めて参加する。

#### ※4 本庄国際奨学財団

平成8年に(株)伊藤園代表取締役会長（当時）の寄附により設立された公益法人である。発展途上国とその地域の平和的発展を願い、博士の学位取得を目指す優秀な外国人留学生と日本人学生に対し奨学金として資金援助を行っている。東日本大震災津波の発災後、本学を含む東北地区の5大学に対して毎年度義援金を贈っており、また、(株)伊藤園からは「水ボラ」で使用するペットボトル飲料水の提供を受けている。今年度の「拡大水ボラ」には、財団からの奨学金を受けている14大学22人の大学院生と8人のOBが参加する。

---

【問合せ先】岩手県立大学事務局企画室 関屋 TEL 019-694-2005



〒020-0693 岩手県滝沢市菓子 152-52 [www.iwate-pu.ac.jp/](http://www.iwate-pu.ac.jp/)

広報情報グループ TEL 019-694-2005